

平成26年度予算の特色

一般会計

(予算編成方針)

平成25年度における現在の状況は、平成24年度に引き続き法人町民税が当初予算に比べて増収となる見込みですが、大幅な税収増となった平成24年度決算を受けて、平成25年度における普通交付税および臨時財政対策債が皆減となったことに加えて、普通交付税の皆減に連動して、特別交付税においても大きく減収することが見込まれるうえ、先の台風18号に係る被害に対する新たな財政需要が発生する等、今後の経済情勢等も不透明な中、やはり厳しい財政運営に直面しています。

他方、平成26年度の歳入見通しにおいては、平成25年度に引き続き地方交付税における普通交付税が不交付、また、臨時財政対策債においても発行可能額の算出は見込めないことが想定される中で、自動車取得税等、車体課税の廃止等の税制改正がなされる一方で消費税率および地方消費税率の引上げもあるなど経済情勢の動向が不透明であり、平成24年度決算および平成25年度決算見込み程度の税収は見込むことができない状況です。

また歳出においては、台風18号を契機に防災・減災への意識が高まっているとともに、町防災計画の見直しも完了することから、関連する財政需要の増加が見込まれる上、高齢化の進展等による社会保障関係経費の一層の増嵩等により義務的経常経費の増加、老朽化が著しい公共施設の改修等に引き続き多額の財政需要が見込まれ、消費税率および地方消費税率の改定による行政コスト増加など、歳入歳出両面においていずれも厳しい財政状況となり、平成26年度においても引き続き財源不足が生じる見込みです。

このような中で、住民自治の視点について、本町の各施策への一層の浸透を図ることに加えて、年度間における歳入額の変動幅が大きい本町においては、歳出においては各事業を公益性の確保や負担の公平性等の客観的な点からの評価を行った上で、優先度と緊急性を考慮しつつ効率的で合理的な予算に基づいた計画的な執行が、また、歳入においては使用料や手数料についても聖域化せず、的確な住民説明のもとに積極的に財源の確保に努め、真に自立した行財政運営をすることができる体質の早期の実現を図ることが必要となります。

については、平成26年度の当初予算編成にあたって、引き続き財政の健全化に向けての方針を継承し、各所管部門において改革を確実に推進するものとします。

また、4年目を迎える第五次竜王町総合計画が目指す“まちづくりを担う人（定住人口の増）”に焦点を当てた施策および本町が掲げる4本の政策の柱に沿った事業に重点的に予算を配分するとともに、事業の選択と真に住民が求める施策への集中を図りつつ、

町民の内発的な力を育む住民本意の「“ひと”育ち みんなで煌く交竜の郷」をめざして各施策を具体化させるものとします。

《竜王町が掲げる4つの柱》

- (1)豊かな自然と歴史を誇れるまちづくり
- (2)みんなが安心して暮らせるまちづくり
- (3)チャンスを活かすたくましいまちづくり
- (4)町民と行政の協働により築くオリジナルのまちづくり

(予算額)

一般会計の総額は、61億2,500万円とし、前年度に比べ1億4,800万円の減、率にして2.4%の減としました。

前年度当初予算に比べて2.4%減少した要因としては、(仮称)竜王消防出張所整備事業1億500万円について新規に、また町内の町道および橋梁等インフラ整備について総額5,353万円および篠原駅周辺都市基盤整備事業2,849万円等についてそれぞれ増額計上する一方で、町内の大字岡屋地先において、滋賀竜王工業団地の整備に向けた事業(設計業務委託料および工事請負費等を中心に平成25年度当初予算計上額 約15億円程度)について、平成26年度当初予算においては約9億9千万円程度(5億1千万円の減)としたことによるものです。

平成26年度の景気見通しについては、依然として残る欧州各国における金融不安や中国等との政治的な緊張の高まりによる影響、また本年4月1日から導入される消費増税により景気の冷え込みが一定の期間において予想される等その動向について不透明な要素はあるものの、国においては既に平成25年度第1号補正予算を打つ等その対策に努めており、未だ回復途上にある我が国経済の腰折れを防ぐべくその動向を慎重に見極めているところです。

また、平成25年度の本町における町税収入においては、個人町民税については、当初予算に比して2,000万円程度の減少が見込まれる一方で、固定資産税については、概ね当初予算どおりの収入が見込まれることに加えて、町内企業の業績が伸びたことにより法人町民税について平成24年度決算に続いて予算に比して大きく伸びる見込みとなったことにより、町民税全体では収入増となる見込みです。

このような状況の中で、平成26年度当初予算については、町政60周年となる平成27年度を目前に控え、4年目を迎える第五次竜王町総合計画が目指すまちづくりを担

う人（定住人口の増）に焦点をあてた事業および各政策の柱に沿った事業を引き続き強く推し進めるべく、これの実施に要する経費等について所要の財源確保が必要であると判断し、その一部を基金の取り崩しにより補てんしつつ予算を編成いたしました。

については、事業の選択と真に住民が求める施策への集中を図りつつ、第五次竜王町総合計画において目標としている定住人口増加に向けた施策に重点配分し、一般会計予算は、61億2,500万円の前年度に比べ2.4%減としたものです。

[歳入]

- ・ **個人町民税**において1,935万円（3.0%）の減とした一方で、景気の下振れリスクは依然存在するものの、**法人町民税**は、前年度当初予算に対して8,318万円（12.8%）の増、**固定資産税**についても1億2,409万円（7.9%）の増とし、町税全体では1億8,897万円（6.3%）の増としました。
- ・ **地方譲与税**については、総務省推計値および直近数年間の歳入傾向等を踏まえ、前年度と概ね同額としました。
- ・ **地方消費税交付金等**の県税交付金については、総務省推計値および直近数年間の歳入傾向等を踏まえ、総じて13.8%の増としました。
- ・ **地方交付税**は、平成25年度に引き続いて2年連続で普通交付税が不交付となる見込みとなり、特別交付税制度の見直しも実施されることから1,500万円（50.0%）の減としました。
- ・ **国庫支出金**および**諸収入**については、滋賀竜王工業団地整備に係る事業分を減額し計上したこと等により3億7,484万7千円（38.9%）および5,658万4千円（5.8%）のそれぞれ減としました。
- ・ 求められる行政需要に対して**国県支出金等**に加えて、**地域の元気臨時交付金基金繰入金**1,310万円をはじめ各特定目的基金からの繰入金の充当等これらの特定財源を確保してもなお不足することが見込まれる財源不足額を補てんするため、**財政調整基金**から4億181万4千円（12.1%減）を繰り入れました。
- ・ **町債**は、**地域の元気臨時交付金基金繰入金**を適宜活用しながら、適正な町債残高の維持に留意しつつ、将来の住民に渡って負担を求めるべき経費への充充分として1億7,190万円（164.5%増）を計上しました。

[歳出]

- ・ **議会費**は、本町の多様な行政課題に対する議員としての知見の向上を図るべく、各委員会の所管事務調査として議員研修事業を引き続き計上したものの、議員共済会負担金の減により1.3%増加しました。
- ・ **総務費**は、公図閲覧システム導入事業の減および空中写真測量業務負担金、戸籍

副本データシステム構築業務、参議院議員選挙費等について減少したものの、(仮称)竜王消防出張所整備事業、地籍調査事業費、篠原駅周辺都市基盤整備事業、住民基本台帳ネットワーク整備事業および知事選挙費等の増加により22.8%増加しました。

- ・ **民生費**は、子ども療育事業、児童福祉施設(保育所)整備事業が減少したものの、臨時福祉給付金事業、子育て世帯臨時特例給付金事業、児童発達支援事業が新設および高齢者福祉施設等整備事業が追加されたことに加えて、保育所運営費、介護保険特別会計繰出金、地域生活支援事業、特別支援保育事業および自立支援給付費が増加したこと等により17.5%増加しました。
- ・ **衛生費**は、八日市布引ライフ組合(衛生)負担金および中部清掃組合負担金が増加したものの、公共施設再生可能エネルギー等導入事業の減少等により5.1%減少しました。
- ・ **労働費**は、高齢者地域就業促進事業を新規に計上したものの、勤労福祉会館の改修に係る設計業務委託の減少等により2.4%減少しました。
- ・ **農林水産業費**は、日野川流域土地改良区負担金が減少することに加えて、有害鳥獣駆除事業における有害鳥獣駆除防護柵設置補助金が減となるものの、果樹園・畑地活性化支援事業、農業体験教室及び料理教室事業および野菜ソムリエ資格取得支援事業についてそれぞれ新規に計上したことに加えて、日野川用水施設管理協議会負担金および農業集落排水事業繰出金が増となること等により6.2%増加しました。
- ・ **商工費**は、町内企業における地域経済の活性化に向けて、また第五次竜王町総合計画における定住人口の増および若者定住の実現に向けて定住促進住宅リフォーム助成事業を引き続き計上した一方で、ふるさと竜王夏まつり実行委員会に対する補助について減少したこと等により4.4%減少しました。
- ・ **土木費**は、町内の町道および橋梁等インフラ整備に係る事業等について増額計上した一方で、総合運動公園管理費における指定管理料、公共下水道事業繰出金および滋賀竜王工業団地の整備に係る事業費をそれぞれ減額計上したこと等により24.9%減少しました。
- ・ **消防費**は、町防災計画見直し業務が減少するものの、新たな町防災計画に基づく防災資機材の整備や消火栓設置事業、防災情報通信設備整備事業等および東近江行政組合消防負担金が増加すること等により5.9%増加しました。
- ・ **教育費**は、緊急雇用制度を活用した特別支援教育分野人材育成支援事業、教育特区として小学校での英語科推進事業のための英語講師1名の配置および竜王幼稚園便所改修工事設計業務のそれぞれ新規計上に加えて、町内両小学校において平成27年度に予定する教科書改訂に向けた教員用指導用図書整備に係る費用に

ついて、また町立図書館における図書整備に係る予算をそれぞれ増額計上したこと、さらに、35人学級化実施のための町単独費による小中学校への嘱託講師（3名）の配置について引き続き計上したものの、こちらも緊急雇用制度を活用したすこやか支援員等の臨時職員配置および文化財確認調査業務が終了したこと等により1.1%減少しました。

- ・公債費は、1.0%減少しました。今後も引き続き計画的な投資的事業の実施の下で適正な町債残高の維持に努めて参ります。

(主な事業)

◆第五次竜王町総合計画におけるまちづくりの考え方（基本理念）に基づいて分類

「豊かな自然と歴史を誇れるまちづくり」

- ・【新】環境保全型農業直接支援対策事業 1,721万4千円
農業・農村の多面的機能の発揮のための営農活動に対する支援
- ・河川総務費・一般管理費 1,255万1千円
河川愛護作業に係る補助金
- ・田んぼの学校推進事業 18万円
田んぼの学校推進事業委託料（竜小・西小）

「みんなが安心して暮らせるまちづくり」

- ・【新】（仮称）竜王消防出張所整備事業 1億 500万円
（仮称）竜王消防出張所の建設に伴う整備
- ・【新】臨時福祉給付金事業 3,220万7千円
臨時福祉給付金の給付
- ・【新】子育て世帯臨時特例給付金事業 2,054万7千円
子育て世帯臨時特例給付金の給付
- ・【新】児童発達支援事業 1,123万6千円
発達に課題のある子どもとその家庭、通所する園等への専門支援の実施
- ・ふれあい相談発達支援事業 5,676万1千円
竜王町ふれあい相談発達支援センター経費
- ・【新】防災情報通信設備整備事業 274万4千円
自動起動装置メール配信委託料・災害情報システム最適化調査
研究業務委託料

・交通安全施設等維持修繕費 道路照明灯他灯具交換（L E D化）	5 8 3 万 2 千円
・防災資機材整備事業 非常用食料品、非常用飲料水、資材整備	7 0 3 万 7 千円
・小型動力ポンプ整備事業 老朽化している小型動力ポンプの更新	1 9 0 万円
・消火栓設置事業 消火栓設置工事負担金	4 9 8 万 8 千円
・高齢者福祉施設等整備事業 小規模多機能型居宅介護施設整備 （平成27年3月の開所を予定）	3, 2 4 0 万円
・介護保険特別会計繰出金 介護給付費分等支給のための介護保険特別会計繰出金	1 億 1, 6 9 6 万 4 千円
・後期高齢者医療費 後期高齢者医療負担金、後期高齢者医療特別会計繰出金	1 億 3, 3 1 3 万 7 千円
・道路橋梁維持補修費 町道等の維持修繕に係る工事請負費等	7, 2 9 7 万 9 千円
・中学校コンピュータ整備事業 タブレット端末等のI C T機器の整備	4 8 5 万 1 千円
・竜王幼稚園施設整備事業 幼稚園便所改修工事設計業務	2 0 8 万 3 千円

「チャンスを活かすたくましいまちづくり」

・定住促進住宅リフォーム助成事業 若者定住促進等のための住宅リフォーム助成事業	1, 0 0 0 万円
・竜王インター周辺地区整備事業 竜王インターを核にした周辺地区の交通拠点、工業団地や物流拠点への アクセス道路の整備等	9 億 6, 2 4 4 万円
・【新】緊急雇用創出特別推進事業 高齢者地域就業促進事業委託料	3 1 2 万 8 千円
・【新】特別支援教育分野人材育成支援事業 特別支援教育分野人材育成支援事業委託料	1, 2 1 2 万円
・篠原駅周辺都市基盤整備事業 国の交付金を活用した篠原駅周辺の基盤整備等	2, 8 4 9 万円

- ・定住化促進事業 30万円
地区計画等策定業務委託料

「町民と行政の協働により築くオリジナルのまちづくり」

- ・【新】スーセイ・マリー市友好親善使節団派遣事業 359万5千円
スーセイ・マリー市への友好親善使節団派遣に伴う旅費他
- ・【新】スーセイ・マリー市中学生交流受入事業 89万2千円
児童生徒の国際理解や学習意欲の向上
- ・小学生地域間交流受入事業 90万6千円
福島県新地町の小学生を当町に招待して交流
- ・ふれあいプラザ管理費 1,331万5千円
施設指定管理料、高齢者趣味活動運營業務委託
- ・地域に開かれた学校づくり事業 4万円
中学生のボランティア活動支援
- ・地域に開かれた幼稚園教育づくり事業 9万7千円
地域の子育て支援の場として幼稚園を開放
- ・学校支援地域本部事業 213万円
地域による学校支援の取り組みを進めるための統括マネージャー配置等

「その他」

- ・【新】知事選挙費 776万円
知事選挙経費
- ・【新】農業委員選挙費 441万5千円
農業委員選挙経費
- ・議員研修事業 152万3千円
各委員会の所管事務調査
- ・地籍調査事業費 1,402万9千円
地籍調査測量業務の委託等
- ・基幹統計調査事業 339万6千円
工業統計調査、経済センサス基礎調査・商業統計調査他
- ・固定資産評価替調査事業 947万3千円
固定資産評価替調査業務委託料等